

かけはし

岩国市立錦中学校だより 第22号

令和3年(2021年) 2月24日(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>

3年生への手紙

校長 秋本 泰宏



いよいよ卒業式まで16日となりました。今、3年生のみなさんはどんな思いで過ごしていますか。おそらく、ほとんどの人が、間近に迫った公立高校の入試のことで頭がいっぱいだと思います。

この手紙は、受験勉強のラストスパートの束の間の休憩に少し読んでもらえると幸せです。

あなたが3年間通った錦中学校は、あなたの成長をしっかりと見守ってきました。熱中症で倒れそうな暑い夏も

雪の降る寒い冬も毎朝くぐった正門、登下校の時の下駄箱や、一步一步踏みしめてあがった階段、行き来した廊下、教室には本当に思い出が詰まっています。教室や廊下の窓辺からの遠い山々の景色があなたを慰めてくれたこともあったと思います。体育館にもグラウンドにも、あなたの足跡はきちんと刻まれています。学校の至る所に「あなた」は存在したのです。卒業するまで、あなたをいつ如何なる日も無言で受け入れ、そして育ててくれた、校舎や建物、教室の机など、形あるものにまず感謝してほしいと思います。



もちろん、感謝の対象はそれだけではありません。あなたとかかわってきた人たちへの感謝です。楽しいときだけでなく、苦しいとき、悲しいとき、いつも「あなた」のそばには、あなたの仲間がいました。家に帰れば家族がいました。



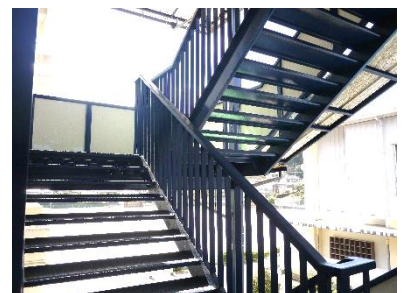
教室の黒板もあなたに語りかけてはきますが、人には心があるがゆえ、必ずや言葉や表情、仕草の一つひとつで反応を示してくれます。人に対する感謝には、相手の反応をもらうことができるよさがあります。

さて、日一日ごとに卒業式までのカウントダウンが進んでいます。この数字が減っていくごとに、一つずつ感謝の心を伝え、反応をもらい、そして、気持ちを整えていってください。

最後の一日だけで感謝を尽くすことはできません。

しかし、最後の一日は必ず訪れます。こうして感謝を尽くした最後の一日、つまり卒業式にはやるべきことがあります。そうです。卒業はゴールではないと言われるように、3年生全員で卒業という名のスタートを迎え、気持ちを整えて仕切り直すことです。

あと16日がいよいよ卒業式です。3年生のみなさん、気持ちのよい「最後の一日」を迎えるために、「今」を大切にしてください。



後期学校評価の結果について

12月中旬に行った後期学校評価の結果を下の表に示しました。前期と同じ判断基準で、肯定評価が80%を超えていれば、「おおむね目標は達成されている」、60%を下回っていれば、「解決すべき課題として捉える必要がある」としました。

	No	質問項目	生徒	保護者
学 校 生 活	1	学校での活動が充実している	○	○
	2	授業がわかりやすい	○	○
	3	敬語など学校で正しい言葉遣いをしている	○	○
	4	学校でルールを守って生活している	○	○
	5	夢の実現や自分の生き方について考えることができる	○	○
	6	学校で人に対して思いやりの心をもって生活している	○	○
	7	道徳の時間には、考え、議論しながら学んでいる	○	○
	8	いじめや友達関係などの悩みは、先生やスクールカウンセラーに相談しやすい	○	
	9	地域の文化や自然などについても学んでいる	○	
	10	学習や環境整備について、地域の方の協力がある	○	○
	11	授業などで分かりにくいところがあると、個別の声かけや指導をしてもらえる	○	○
家 庭 地 域 生 活	12	自分に合った学習方法が身についている	○	■
	13	毎日朝食を食べて登校している	○	○
	14	家庭で決められた役割などのお手伝いをしている	○	
	15	家族に学校のことをよく話す	○	
連 携	16	地域の方と、挨拶を交わしたり、行事やボランティアなどでふれ合いをしたりしている	○	
	17	学校は、家庭や地域に向けて、学校の取り組みや行事、子どもの様子を学校だよりやホームページ等で適切に知らせている		○
	18	学校は、地域や保護者の方が授業やその他の教育活動を参観できる機会を十分に設けている		○
	19	学校は、生徒・保護者・地域の方に、誠意を持って接している		○
	20	学校は、掃除が行き届き、施設や設備が整備されている		○
	21	保護者や教職員は、PTA活動に積極的に取り組んでいる		○
	22	学校は校区の小学校と情報交換や協力体制を充実させるなど、十分に連携している		○
授 業	23	コミュニティ・スクールとして、地域や保護者と協働した学校づくりに取り組んでいると思いますか。		○
	17	「めあて」を意識して授業を受けている	○	
	18	話し合ったり、意見を発表したりしてかわりあっている	○	
	19	振り返りでわかったこと、よくわからなかったことを整理している	○	

○は、十分達成されている、■は、課題があり 空欄は特に問題なし

<まとめ>

- ① 保護者の結果については、前期（7月）よりも学校の活動が増え、保護者が来校する日が多くなり、校内の様子が具体的にわかるようになったためか、全体的に肯定的な評価を大きく増加させることができました。
- ② 設問5、12は前期に課題とした項目でしたが、どちらも肯定的な評価が増えており、改善されつつあります。特に設問12は、依然課題となっていますが、前期評価を受け、学級活動の時間に学習方法を取り上げ、その後随時実践状況を確認する取組を学校全体で行ったことが、肯定的な評価が増えた理由のひとつであると捉えています。今後、この取組を委員会活動に取り入れ、生徒自身による意識の向上を図りたいと考えています。